

2.大雨の災害への備え

■気象情報や防災情報の収集方法

【おおさか防災ネット】

<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>
緊急情報、避難勧告、地震津波情報

【大阪府都市整備部河川室 河川防災情報】

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>
寝屋川流域の雨量、河川の水位状況

【気象庁】

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

【大阪市降雨情報】

<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>

【国土交通省 防災情報提供センター】

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

<携帯サイト>

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

【国土交通省 XバンドMPLレーダー雨量情報】

<http://www.river.go.jp/xbandrader/>

インターネットで気象情報や防災情報を入手できます。

テレビで、河川の水位・雨量の情報を入手できます。



NHK放送画面の時に、リモコンの「d」ボタンを押す

TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す

「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す

受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

<防災情報メール>

touroku@osaka-bousai.net

地域に発令された警報・注意報、避難勧告などの防災情報メール
(空メールを送信してください)



<川の防災情報>

<http://i.river.go.jp/>

雨雲の動きや全国の川の水位



<大阪府河川情報>

<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/mobile/>

身近な河川の水位や雨量の情報



■河川はん濫や内水浸水の危険性があるときにとるべき行動

河川はん濫の避難勧告区域

【気象庁】大雨警報、洪水警報などの発表

- ・気象情報等の収集、周囲の状況に警戒
- ・必要に応じ、土のう等の準備・設置
- ・必要に応じ、自宅や近隣の高いところへ一時避難
- ※特に、地下にいる人は屋外の状況把握、浸水が予想される場合の早めの避難が必要

河川はん濫の避難勧告の対象でない区域

- ・気象情報等の収集、周囲の状況に警戒
- ・必要に応じ、土のう等の準備・設置
- ・必要に応じ、自宅や近隣の高いところへ一時避難
- ※特に、地下にいる人は屋外の状況把握、浸水が予想される場合の早めの避難が必要

【大阪市危機管理室・区役所】避難準備情報の発令・伝達（河川はん濫の可能性＋内水浸水の可能性）

- ・1階に住む人で、高齢者など避難に時間がかかる人は、避難場所への避難行動を開始
- ・1階に住む人で、通常の避難行動が可能な人は、家族等との連絡、非常用持出品の用意など避難準備を開始

・同上

【大阪市危機管理室・区役所】避難勧告の発令・伝達（河川はん濫の危険性＋内水浸水の危険性）

- ・1階に住む人で、通常の避難行動が可能な人は、避難場所への避難行動を開始

- ・同上
- ・内水浸水の危険性が高い地域では、土のう等の設置
- 自宅や近隣の高いところへ一時避難

【大阪市建設局】ポンプ運転調整開始（大阪府水防本部長の指示による）

・避難完了

・一時避難完了（必要な場合）

■避難勧告の伝達手段

河川はん濫の避難勧告等は、防災行政無線（防災スピーカー）、緊急速報メール、大阪市ホームページ、ツイッター、おおさか防災ネット、テレビ・ラジオ、地元組織への連絡、広報車などにより伝達されます。

■普段からの備え

いざという時に円滑に避難できるための準備

- テレビやホームページによる気象情報・防災情報を入手し、チェックしましょう。
- 避難場所や避難経路は実際に歩いて確認しておきましょう。
- 外への避難と2階以上への避難のどちらがよいかを考えておきましょう。

浸水被害を軽減するための準備、心がけ

- 浸水被害の原因につながる排水溝のゴミ等を定期的に掃除しましょう。
- 玄関や道路からの浸水を防ぐため、土のうを用意しましょう。
- 浸水に備えて、会社の設備、家電や貴重品は高所へ移動させましょう。
- 庭にはできるだけ土を残しておく。
- 大雨のときにはお風呂の水は流さない。
- 雨水はためて庭の水まきなどに使う。

雨どいから雨水を取り込んで貯留できる『雨水貯留タンク』の設置に対する「雨水貯留タンク普及促進助成制度」があります。

